

インラインスプリンクラー バルブ (電磁弁) #94150

バルブの構成部品

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1 ソレノイド | 5 バルブリッド |
| 2 手動ON/OFFレバー | 6 スプリング |
| 3 開閉リング | 7 バルブダイアフラム
(パッキン) |
| 4 圧抜きスクリュー | 8 ボディー |

●手動ON/OFFレバー

タイマーを使わず手動でバルブの弁の開け閉めを行ないます。

- ・レバーを「ON」にまわすと給水弁が開きます。
- ・レバーを「OFF」にまわすと給水弁が閉まります。

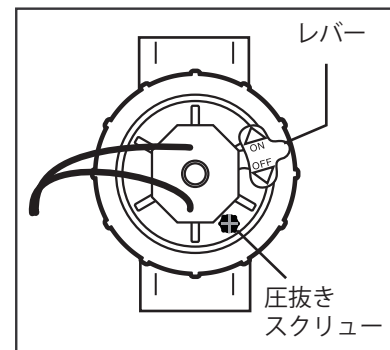
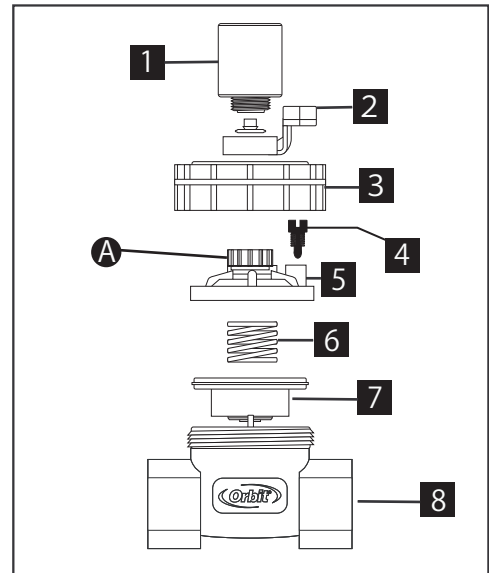
[注]タイマーによる自動散水を行なう場合は「OFF」にしてください。
給水弁の開閉はタイマーが行ないます。

[注]手動ON/OFFレバーを取り外し、再度レバーを取り付ける際は
取り付け側のハンドル(A)を時計回りに止まるまでまわし、その
状態でレバーがOFFに設定されるように取り付けてください。ハ
ンドル(A)が閉まっていないと、レバーをOFFにしても給水弁が
開いている状態になってしまいます。

●圧抜きスクリュー

冬季など散水システムを長期間使用しない際、バルブ内の圧を抜き、
凍結対策を行う時に使用します。止水栓を閉め、スクリューを少し緩め
るとバルブ内の圧が抜けます。

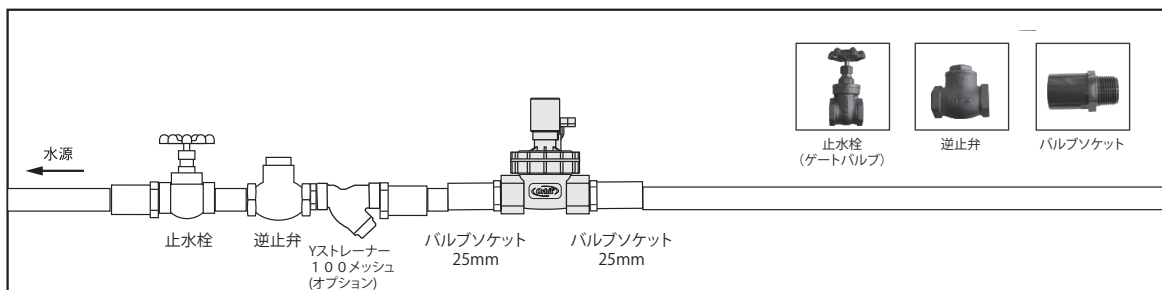
*手動ON/OFFレバーもONにしてください。



■インラインバルブの設置

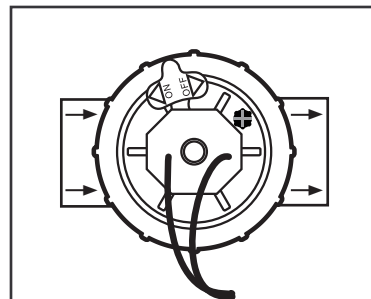
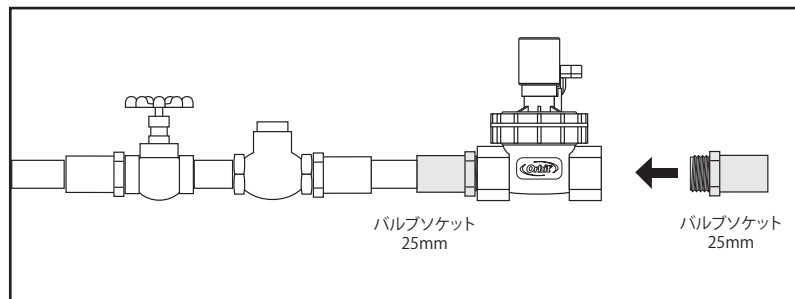
① 散水システム用の止水栓と逆止弁(またバキュームブレーカー)を設置する。

電磁弁に異物が挟まり、弁が閉じなくなることを防ぐために、100メッシュのYストレーナーを設置することをオススメします。井戸水をご使用の場合は、必ず100メッシュの井戸用砂こし器や井戸用フィルター100メッシュを設置してください。井戸水の場合、Yストレーナーだとすぐにフィルターが詰まってしまう可能性があります。

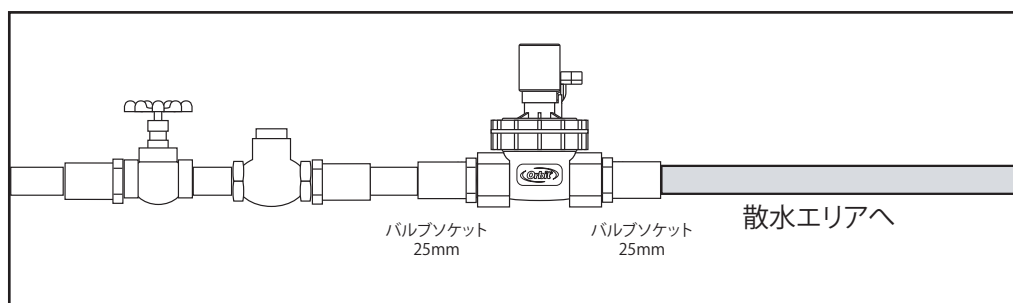


*電磁弁を設置する前に、必ず水を流し、配管内の異物を洗い流してください。それを行わないと電磁弁に異物が挟まり、弁が閉まらなくなる可能性があります。Yストレーナーを設置する場合は、Yストレーナー設置する前と後に水を流してください。

② インラインバルブ(電磁弁)を設置する。バルブ上部の矢印は水の流れです。矢印に従って設置してください。インラインバルブの呼と出の接続部分は25mmのメスねじとなっています。通常、接続には25mmバルブソケットを使用します(メタル無しを使うことをおすすめします)。バルブソケットのネジ山にシールテープを巻き、バルブにねじ込みます。この際、強く締めすぎるとバルブが割れてしまうのでご注意ください。通常、インラインバルブはバルブボックスの中に入れ地中に埋設します。



③ 散水エリアへ配管する。配管にはHIVP(塩ビ管)のご使用をおすすめします。

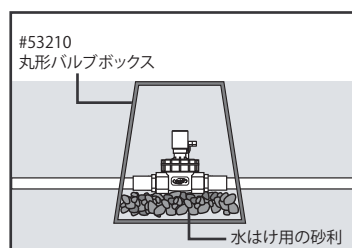


④ 配管が終わったら、散水器具を取り付ける前に、インラインバルブの手動ON/OFFレバーでバルブを開き、水を流し、配管の中の泥やゴミの異物を洗い流してください。

■埋設用バルブボックス

●丸型バルブボックス

当社の丸型バルブボックス(#53210)には1つのインラインバルブを入れることができます。

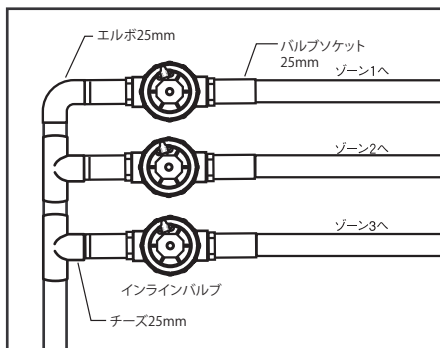


●角型バルブボックス

インラインバルブが複数ある場合、角型ボックス(#53212)にまとめて入れることができます。角型ボックスには最大3つのインラインバルブを入れることができます。バルブボックスには配管用の穴が空いていません。呼、出の配管位置に穴を開けてご使用ください。



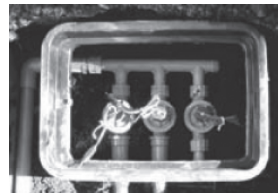
#53212
角型バルブボックス



複数のインラインバルブの接続方法



・配管用の穴をあける



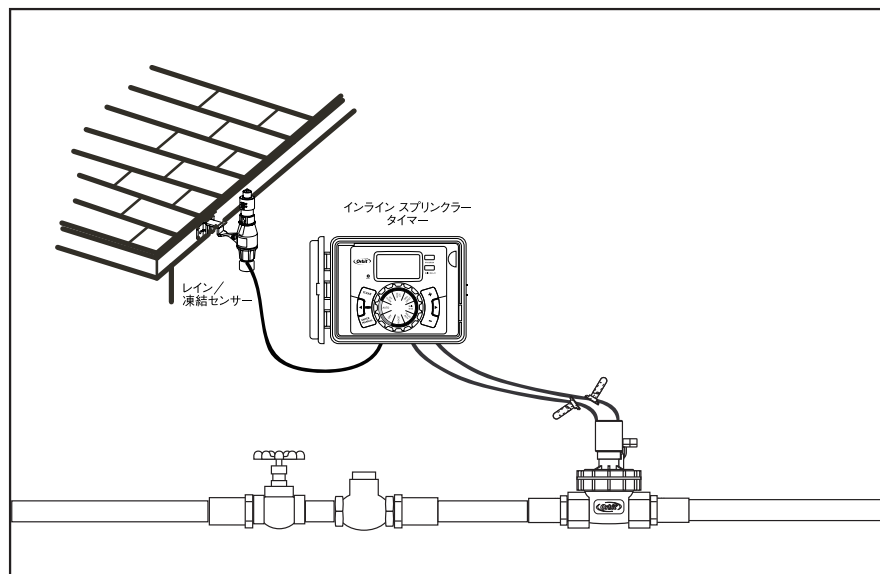
・水はけ用にバルブの下に砂利を敷くことをおすすめします。



・バルブが3つの場合、4つの穴を開ける必要があります。
(呼: 1 出: 3)

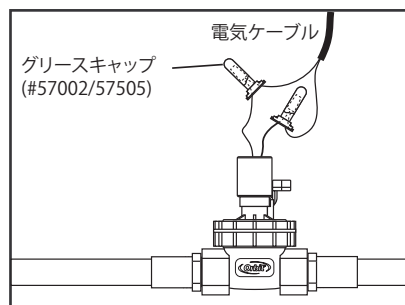


■タイマー/バルブの結線

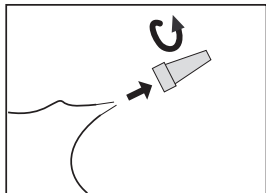


①バルブから出ている2本のケーブルに電気ケーブル(市販品)をつなぎ、タイマー設置位置まで配線します。ケーブルはCD管などの保護管に入れ、配線することをおすすめします。結線部分は水が入らないよう防水処理を行ってください。

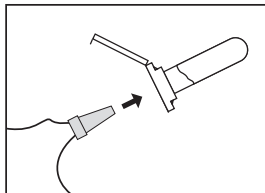
※当社グリースキャップ(#57002/57505)はケーブル同士の結線に使用し、つなぎ目に水が浸入すること防ぎます。



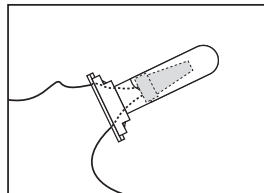
●グリースキャップの使用方法



電気ケーブルの先のビニールをはがし、付属のオレンジ色のキャップにケーブルに差し込み、キャップを回す

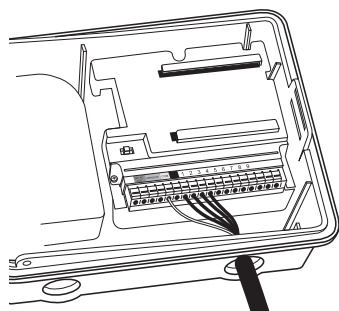


グリースキャップのフタを開け、オレンジ色のキャップにいったケーブルを完全にグリースに浸かるまで差し込む

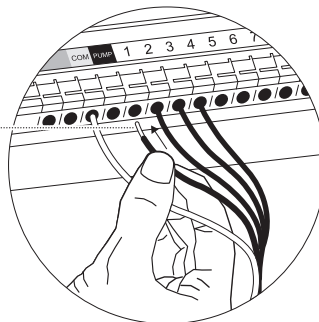


グリースキャップのフタを閉める

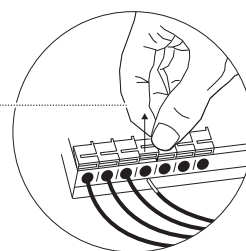
② 電磁弁に接続した電気ケーブルの反対側をタイマーの接続端子に取り付けます。タイマーのパネルを開き、電気ケーブルのタイマー側の先端のプラスチックカバーをはがし、1本を端子1に、もう1本をCOM(コモン)(共有)に接続します。電磁弁が1つの場合は、どちらの線をどちらの端子に取り付けてもかまいません。電気ケーブルを差し込む時、端子上部のタブを押し上げて、ケーブルを差し込んでください。



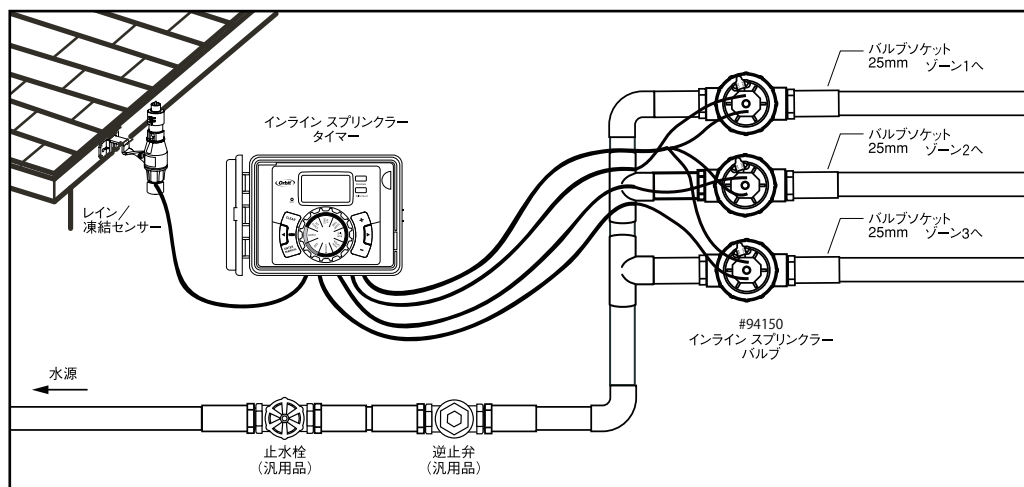
タイマーケーブル



タブを押し上げる

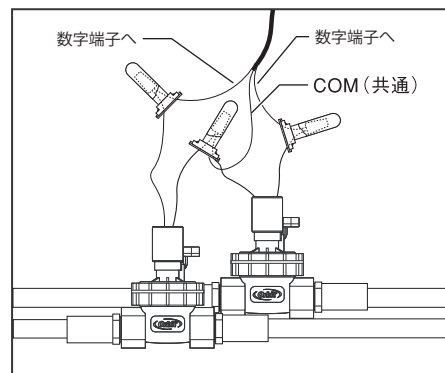


●バルブが複数ある場合



バルブが複数ある場合は、各バルブの1本のケーブルを、タイマーの接続端子の1～4 (または1～6、1～12、タイマーによって付けられるバルブの数が異なります) の番号が記された箇所に接続し、すべてのバルブのもう1本のケーブルを1つにまとめ、1芯の電気ケーブルにつなぎ、タイマーのCOM(共有)に接続します。接続端子の番号は散水ゾーンに対応しています。端子1に接続したバルブがゾーン1となります。

[注]1芯以上のケーブルを同じ番号の端子に接続しないでください (COMは大丈夫です)。



③ タイマーの手動操作で散水テストを行なってください。

■トラブルシューティング

タイマー操作で散水が行われない場合、まずインラインバルブ(電磁弁)の手動ON/OFFレバーで散水が行われるか確認してください。

▶タイマー操作では散水が行われないが、インラインバルブ(電磁弁)の手動操作では散水できる場合。

このケースは電氣的な故障の可能性があります。

→レンセンサーが感知している。タイマーのレインセンサーのスイッチをOFFにして、もう1度タイマーでテストして下さい。

→タイマーとインラインバルブが正しく結線されていない。インラインバルブ(電磁弁)と電気ケーブルの結線箇所、電気ケーブルとタイマーの接続個所がきちんと結線されているか、ご使用の電気ケーブルが導通しているか確認してください。

→タイマーの電源(100V)が入っていない。または電源に電気がきていない。

タイマーに電気がきていない場合、タイマーのディスプレイに「NO AC」と表示されます。

[注]ディスプレイは、電池で稼働しているので、電気が流れていなくても、表示されます。

→ソレノイドが故障している。インラインバルブのソレノイドは消耗品です。定期的に交換する必要があります。

▶インラインバルブ(電磁弁)の手動操作でも散水が行われない。

このケースは、物理的に、水が散水器具に配水されていません。

→元栓(止水栓)が閉まっている。

→インラインバルブの入と出の接続が反対に取り付けられている。インラインバルブ上部の矢印が水の流れと同じになっているか確認してください。

→Yストレーナーのフィルターが詰まっている。

→逆止弁が反対に付いている。

→散水器具への配管の途中で水が漏れている。

▶散水の水が止まらない

→インラインバルブの手動ON/OFFレバーがONになっている。またはレバー取付箇所がONの状態になっている。手動ON/OFFレバーを取り外した場合、手動ON/OFFレバーを取り付ける際、取り付け側の接続部分 **A** (図1)を時計回りに止まるまでまわし、その状態でレバーがOFFに設定されるように取り付けてください。そうしないとレバーをOFFにしても、給水弁が開いている状態になってしまいます。

→圧抜きスクリューがゆるんでいる。

→インラインバルブの弁にゴミや砂がはさまっている。

バルブの開閉リングをまわしをフタを取り、中の白または透明のゴム製のバルブダイアフラム(パッキン)を取り、付いている砂やゴミを洗い流してください(図2参照)。また止水栓を開け、配管内の異物も流してください。

バルブダイアフラムを洗っても、水が止まらない場合は、ダイアフラム本体を交換してください。劣化によりゴムが変形すると、きちんと閉まらなくなります。

→バルブ内構成部品に欠品がある。

